

- ▶ 本県の森林産業を資源循環型産業に変革させるためには、地域の核となる人材づくりが求められている。また、従来の固定観念にとらわれずに、森林産業が抱える課題の本質を捉えて解決に取り組むため、産学官の異分野人材によるチームづくりを進める必要がある
- ▶ そのため、立場や視点の異なる産学官の関係者による森林産業の抱える課題の本質を捉え直すプログラムを実施し、イノベーション人材創出を推進した。

□ 事業内容

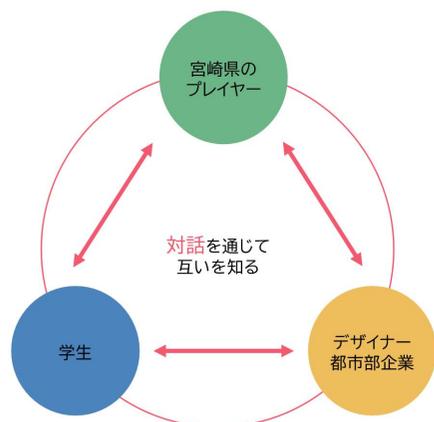
1 森林産業イノベーション人材創出モデル事業

- (1) 地域プレイヤーと大学生等による地域森林産業の魅力や課題の深掘り
- (2) 地域プレイヤーと異業種参画者による山のダイゴミプロジェクト推進、試作品の作成

【事業費】9,997千円（うち譲与税3,596千円）

【実績】

- (1) 大学生の視点による地域森林産業の魅力や課題の分析
 - ・林業ツアーの開催（3回）
- (2) 地域人材とデザイナーによる新たな価値創造に向けた取組
 - ・山のダイゴミプロジェクトの推進及びプロダクトの制作



参加者の関係性



林業ツアーの実施

□ 工夫・留意した点

- ・従来、森林産業は、サプライチェーンを一気通貫した関わりが少ないが、イノベーションを推進するには産業全体のサプライチェーンを意識した取組を各段階で行う必要があるため、造林・素材・製材・建設のそれぞれの業界に関連する企業から参加を募集した。
- ・消費圏の大学生やデザイナー等も参画し、産業外からの視点を得て、地域や企業課題を捉え直しができる事業内容とした。



プロダクトの試作（山のダイゴミプロジェクト）

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：184,332千円	②私有林人工林面積（※1）：176,375ha
③人口（※2）：1,069,576人	④林業就業者数（※2）：3,587人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より